

「東京都北区 女性のためのLINE相談 To U」の実施

総事業費	6,562 千円
交付金額	4,923 千円

地域の実情と課題

- ・区的女性相談事業における過去3年間の29歳以下の相談者数は、全体の2～4%程度である。また、若年層の居場所としてティーンズ・センターを開設しているが、認知度は低い。
- ・新型コロナウイルス感染拡大やコロナ禍等の社会情勢の影響を受け、孤立や貧困等の困難な問題を抱える女性は増加傾向にあると言われていたが、社会的支援を必要とする女性に必要な情報や支援が十分行き届いていないという課題がある。

事業の特徴

就学・就労、子育て、介護・看護等により既存の相談事業を利用することが難しかった女性を含め、あらゆる状況の女性たちの突発的な支援要請に対応することができるよう、LINEを用いた相談窓口を開設し、相談を受け付ける。

事業の効果

- ・LINE相談友達登録者数 333名
- ・LINE相談実績 232件
- ・10代から50代の幅広い年齢の女性からの様々な相談に対し、関連機関の紹介やアウトリーチ支援への接続等、きめ細やかな支援を実施した。
- ・子育て世代の女性が、育児の合間にLINE相談を活用し、育児の悩み、夫との関係に関する悩み、仕事の悩み等を相談するケースが多数見受けられた。隙間時間を活用して気軽に相談できる体制を構築することができた。

目的・目標

幅広い年齢層の女性が自らの進路や生活のあり方を自分で選択することのできる地域社会の実現に向け、就労・就学・暮らし等の女性の悩み全般に対応できる相談体制と、悩みを抱えた女性に対する個別的支援を継続的に実施できる体制を構築する。そのための取り組みの一つとして、若年層女性の居場所(SNS上を含む)づくりにもつながる、女性のためのLINE相談を実施する。

<目標>
LINE相談友達登録者数 250名

連携団体

東京都北区女性活躍推進協議会
NPO法人
北区社会福祉協議会
区内教育機関・北区教育委員会
北区子ども家庭支援センター
北区生活福祉課 等

今後の課題

- ・LINE相談の友達登録者数の推移は当該事業の周知状況を把握するための指標として、相談件数の推移は悩みを抱える女性の推移を把握するための指標としてそれぞれ有効である。今後は、友達登録者数や相談件数といった数による評価ではなく、個々の相談者に対し相談内容を踏まえた適切な対応がなされているかについても評価していく必要がある。
- ・LINE相談では、相談者の表情や声色が確認できないため、抱えている課題の解消・軽減に至る前に、相談者がフェードアウトしてしまう可能性が高い。今後は、必要に応じて、LINE相談から面接相談やアウトリーチ支援につなげていくことも必要である。

事業の概要

<概要>

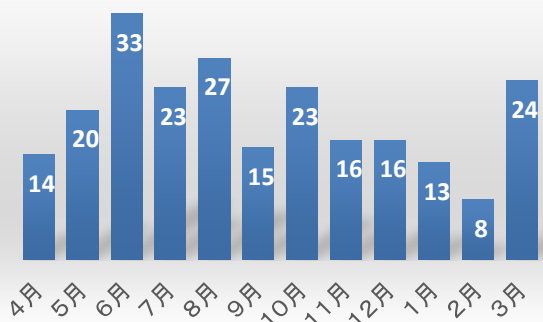
新型コロナウイルス感染拡大やコロナ禍等の社会情勢の影響を受け、孤独や孤立による不安、就労・就学・暮らしに対する困難等を抱える女性を対象としたLINEを用いた相談窓口を開設することにより、若年女性の居場所(SNS)を提供するとともに、適切な機関や相談窓口、アウトリーチ支援に接続する体制を構築した。

平日・週末の夜間に実施することで、これまで女性相談に繋がっていなかった若年女性からの相談が多く寄せられた。また、隙間時間を活用した学生や育児中の女性からの相談も多く寄せられた。

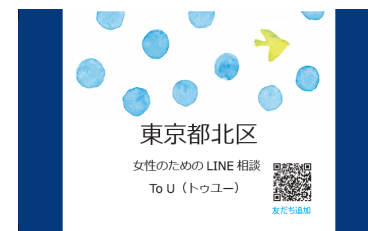
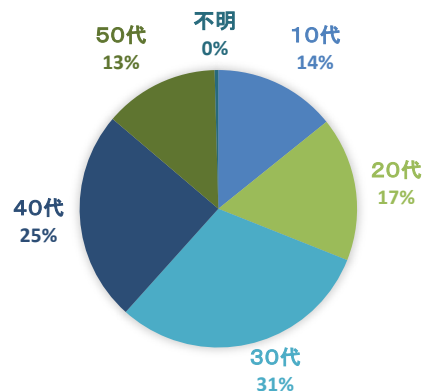
<実績>

- ・LINE相談友達登録者数 333名
- ・LINE相談件数 232件

LINE相談件数



相談者の年齢構成



相談案内カード
区内中学校・高等学校・区関連施設等
において配布



北区公式Twitterにおける周知